

これまで実施してきた意見交換会や個別の意向調査などを通じて、皆さまからいただいたご意見を踏まえた復興計画を令和8年8月31日に策定いたしました。
かわら版4号では、令和8年8月23日に開催した復興意見交換会の実施報告および復興計画の概要についてお知らせいたします。

「復興意見交換会」を開催しました

復興意見交換会の開催について

今回の復興意見交換会にも、佐賀関地域に関わるたくさんの皆さまにご参加いただきました。
当日は、復興計画(案)についてご説明し、その後の質疑応答にて活発な意見交換が行われました。

開催日時：令和8年8月23日(日)

14:00～15:30

開催場所：佐賀関市民センター

参加者：98名

復興意見交換会プログラム

- ・開会
- ・挨拶
- ・議題：復興計画(案)について

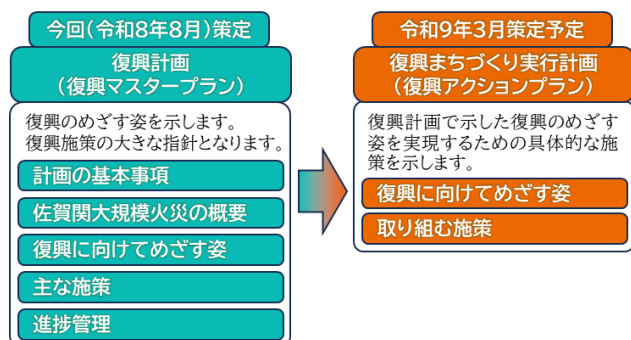


会場の様子

復興計画の概要

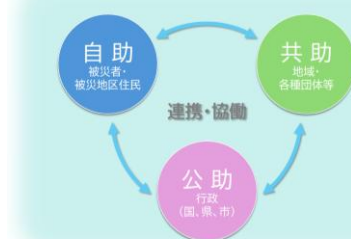
計画策定の趣旨

復興計画は、被災者だけでなく、地域に関わる全ての方々が理念や考え方を共有する中で、復興のめざす姿を示すとともに、復興に向けた具体的な事業概要を取りまとめる「実行計画」へとつながる計画として策定します。



復興に向けた役割

被災者・地域住民・各種団体・行政がそれぞれの役割を認識し、「自助」「共助」「公助」の考え方のもと、一体となって復興を推進していくことが必要です。



計画期間

復興計画を踏まえ、実行計画を
2027年3月末までに策定し、実行計画に基づく復興事業の計画期間を
2027年度から2031年度までの5か年とします。

年度	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031
復興計画		策定	計画期間				
実行計画		策定	計画期間				
事業展開							

■ 復興のめざす姿

【復興の理念（復興のことば）】

「田中連合区復興事務局」からいただいた5つの「復興のことば」を、本計画における『復興の理念』として位置付けます。

復興

復興を果たし、誰もが親しむ地域づくり

安全・安心な暮らし

みんなが笑顔あふれる安全安心な地域づくり

交流を育む

人と人がつながり、交流を育む地域づくり

未来への継承

多様な世代が暮らし、次世代に地域をつなぐ

地域の伝統をつなぐ

伝統文化を未来へつなぐ

【復興の視点】

復興における課題や復興の理念を踏まえて、「3つの視点」を掲げ、復興まちづくりを推進していきます。



【復興のキャッチフレーズ】

復興の理念や意見交換会へ参加された方の意見を踏まえ、復興のキャッチフレーズを決定しました。

『復興から未来へつながりあふれる佐賀関』

復興意見交換会での主なご意見と市の回答

（意見①）「被災エリアの回復」が今回の復興計画において最も重要だと思う。

接道要件を満たさない小さな土地ばかりで、所有者が自分の力だけで解決するのは難しいため、課題として整理できないか。

（回答①）行政だけでは解決できないため、自助、共助、公助の中での取り組みが大切です。課題への記載については検討いたします。

➡＜検討結果＞田中連合区復興事務局とも協議の上、本編18頁の課題1に追加で記載しました。

（意見②）全国から寄せられた寄付金に対して、施策の概念に寄付金を使用することをお礼の意味でも計画に書いた方が良いのではないか。

（回答②）実行計画に記載させていただきます。

復興計画（本編・概要版）のホームページ公開について

復興計画の本編と概要版は、市のホームページで公開しております。以下のURLもしくは、右のQRコードを読み込んでご覧ください。

【URL】

<https://www.city.oita.oita.jp/o169/saganosekihukukoukeikaku.html>

